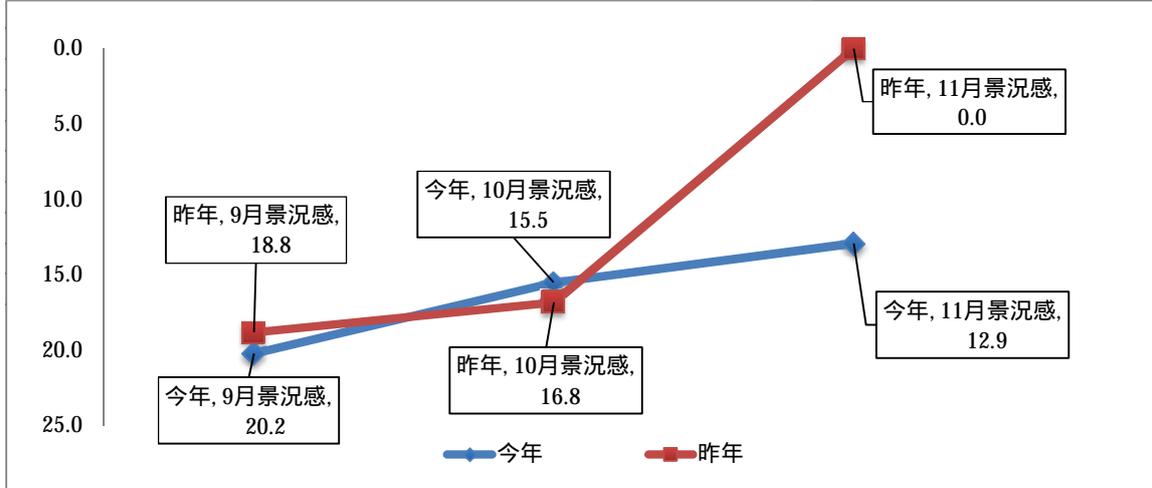


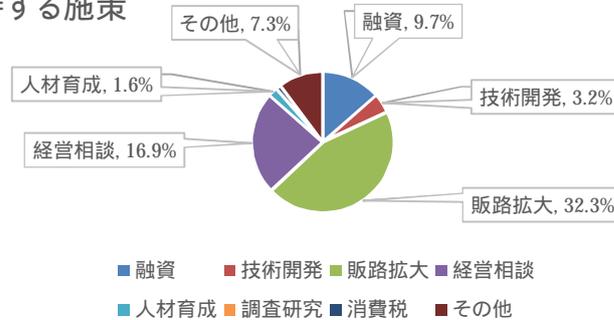
平成28年度会員景況調査(11月)

	9月景況感	10月景況感	11月景況感	2～3カ月先の景況感	H28年度アンケート回答企業数	
今年	20.2	15.5	12.9	13.7	H28.11	124件
昨年	18.8	16.8	0.0	22.3	H28.4～11	996件



期待する施策	割合 (%)
融資	9.7%
技術開発	3.2%
販路拡大	32.3%
経営相談	16.9%
人材育成	1.6%
調査研究	0.0%
消費税	0.8%
その他	7.3%

期待する施策



(会員の声)

- ・常連客の高齢化で売上3割程度減少(理容業)
- ・新築が多かったため、家具や仏具の販売が好調であった。(家具・仏具等販売業)
- ・チェーン店の進出により来客数が減少傾向にある。(クリーニング業)
- ・通販部門の売上が増加続きであり、一人あたりの購入量も多くなっている。(園芸資材卸・小売業)
- ・消費者の購買形態がネットへ推移。当店で価格やスペックを見てから通販購入するという事も時々ある。(家電小売業)
- ・7～10月の売上が50%減少。(菓子製造小売業)
- ・工事などが増加する時期。工事産廃の受注も増加。(機材・産廃運送業)
- ・11月からは受注は比較的好調。(土木工事業)
- ・受注量は激減。昨年同期の半分程度。(建具製造業)
- ・受注量に波があり、9月は良かったが10・11月は50%強の売上減になってしまった。(鉄工業)
- ・注文数は年末にかけ10%程度増産を見込んでいるが、原料不足の心配がある。(食品製造業)
- ・自動車関連企業からの受注は横ばいのまま。(治具等製造業)
- ・年末は上向きだが利幅が少ない。(土木工事業)
- ・寒くなる季節は需要増。円安・原油高により利益率圧迫。(燃料小売業)
- ・取引店舗数は増加続き、24時間体制で生産しているが野菜の高騰が続き利益面では減収。(食品製造業)
- ・設備投資による資金調達を考えている。(自動車鋳金業)
- ・売掛金の一部が回収できない。(建設業)
- ・資材・材料の高騰で半月から1カ月の発注ズレで価格が変化してしまい材料手配もシビアになっている。(建築業)
- ・原料確保に例年より早く動かなければならず、運転資金不足。(園芸用土業)
- ・時期によっては雇いたい気持ちがあるが、安定した仕事量を確保することに不安を感じている。(自動車鋳金業)
- ・募集はしているが、良い人材が集まらない。(家具・仏具等販売業、電気工事業、生命保険業)
- ・インドネシアから研修生を3名受入予定。(園芸用土業)
- ・ベトナム人の研修生を受け入れた。他にも派遣社員も活用して対応している。(食品製造業)
- ・大型店やネット販売の価格帯では、電化製品小売業では太刀打ちできない。(電化製品小売業)
- ・常連客の高齢化。安い理髪店の増加。中心市街地の人口減少。(理容業)
- ・来年、都市ガス自由化により更なる競争が激化。(燃料小売業)